

資料配付場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
(その他配付場所はP4参照)

平成27年10月16日同時配布

平成27年10月16日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

環境研究を担う国等13の研究機関が一堂に集結！

第13回環境研究シンポジウム

2050年の地球と暮らし-環境技術と地球規模課題-

環境研究を行う国立、国立研究開発法人及び国立大学法人の13研究機関から構成される環境研究機関連絡会は、平成27年11月10日(火)、一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)において、第13回環境研究シンポジウムを開催し、各研究機関における環境研究の成果を広く国民にお知らせします。

今回のシンポジウムでは、『2050年の地球と暮らし-環境技術と地球規模課題-』をテーマとして、11件の講演を行います。また、約100件のポスター発表によって、各研究機関における環境研究の最新の成果をお伝えします。

多数の皆様のご来場をお待ち申し上げております。

1. 日 時：平成27年11月10日(火) 12:00～18:00
2. 場 所：一橋大学一橋講堂(学術総合センター内)
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 TEL:03-4212-3900
3. プログラム：詳細はP3～P4参照
4. 参加費：無料
5. 参加登録：参加ご希望の方は、下記のウェブページから登録をお願いします。
<https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/>

6. 環境研究機関連絡会とは

今日発生している様々な環境問題を解決するためには、各専門領域にとどまることなく、これらを包含した総合的視点から、各専門分野の研究を推進する必要があります。

また、環境研究に関する多様なニーズに応え、効果的、効率的な研究を推進していくため、新たな情報交換の場を設け、より一層、連携・協力を緊密にしていくことが不可欠となっています。

そこで、環境研究に携わる国立、独立行政法人及び国立大学法人の研究機関が情報交換し、環境研究の連携を緊密にするため、「環境研究機関連絡会」が平成13年に設置されました。

連絡会では、

- (1) 環境研究の推進状況の紹介と相互理解
- (2) 環境研究の主要成果の紹介
- (3) 環境研究の協力・連携・連絡

などを行っています。

7. 環境研究機関連絡会の参加機関（平成26年10月現在）

- ・国立研究開発法人防災科学技術研究所
- ・国土交通省国土技術政策総合研究所
- ・国立研究開発法人物質・材料研究機構
- ・国立研究開発法人建築研究所
- ・国立研究開発法人農業環境技術研究所
- ・国立研究開発法人港湾空港技術研究所
- ・国立研究開発法人森林総合研究所
- ・国立研究開発法人土木研究所
- ・国立研究開発法人水産総合研究センター
- ・国立研究開発法人国立環境研究所
- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・国立大学法人筑波大学
- ・国土交通省気象庁気象研究所

8. お問い合わせ先：

【本プレスリリースについて】

- ・国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 担当：馬場
- 〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地
TEL：029-864-2674 FAX：045-227-2704

【シンポジウムの詳細について】

環境研究機関連絡会 事務局

- ・国立大学法人筑波大学 研究推進部研究企画課 担当：笹谷
- 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL：029-853-2935 FAX：029-853-6011

9. 会場周辺地図：学術総合センター（神保町駅から徒歩3分、竹橋駅から徒歩4分）



10. プログラム (詳細)

【講演会】

13:00 開会挨拶 国立大学法人筑波大学 学長補佐 (特命:環境)・教授 白岩 善博

13:10 講演1 地域的な気候の変化をどうやって求めるか? (20分)

講演者: 国土交通省気象庁気象研究所 環境・応用気象研究部
部長 高藪 出

13:30 講演2 都市気候とエネルギー需要の将来予測 (20分)

講演者: 国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境管理研究部門
大気環境動態評価研究グループ 研究員 高根 雄也

13:50 講演3 沿岸環境予測モデル「伊勢湾シミュレーター」の開発 (20分)

講演者: 国立研究開発法人港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域
海洋環境情報研究チーム チームリーダー 井上 徹教

14:10 講演4 豊かな海を育む藻場 ～実態と回復～ (20分)

講演者: 国立研究開発法人水産総合研究センター 研究推進部
研究開発コーディネーター 桑原 久実

14:30 講演5 2050年の食料生産変動予測に向けて (20分)

講演者: 国立研究開発法人農業環境技術研究所 大気環境研究領域
上席研究員 西森 基貴

(休憩 15分)

15:05 講演6 2050年に向けて環境技術を評価する (20分)

講演者: 国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター
主任研究員 芦名 秀一

15:25 講演7 住宅・建築物における水利用技術に関する考察 (20分)

講演者: 国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ長
山海 敏弘

15:45 講演8 循環型社会の実現を目指したナノセルロース材料利用技術 (20分)

講演者: 国立研究開発法人森林総合研究所 バイオマス化学研究領域
研究員 藤澤 秀次

16:05 講演9 頻発する世界の洪水に対する対策 (インダス川を例として) (20分)

講演者: 国立研究開発法人土木研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 水災害研究グループ
上席研究員 加本 実

16 : 25 講演 1 0 2050 年の暮らしに向けたインフラストックの機能向上 (20 分)

講演者 : 国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部

水環境研究官 福濱 方哉

16 : 45 講演 1 1 水素エネルギーがつくる未来社会 (20 分)

講演者 : 国立大学法人筑波大学 システム情報系 教授 石田 政義

17 : 05 閉会挨拶 国立研究開発法人森林総合研究所 理事長 沢田 治雄

【ポスター発表】

○ 展示時間 12 : 00 ~ 18 : 00

○ 発表時間 12 : 00 ~ 12 : 45、17 : 15 ~ 18 : 00

1 1 . 本プレスリリースのその他配布場所

- ・筑波研究学園都市記者会
- ・環境省記者クラブ
- ・文部科学記者会
- ・科学記者会
- ・農政クラブ
- ・農林記者会
- ・農業技術クラブ
- ・林政記者クラブ
- ・水産庁記者クラブ
- ・経済産業記者会
- ・経済産業省新聞記者会ペンクラブ
- ・気象庁記者クラブ
- ・神奈川県庁記者クラブ